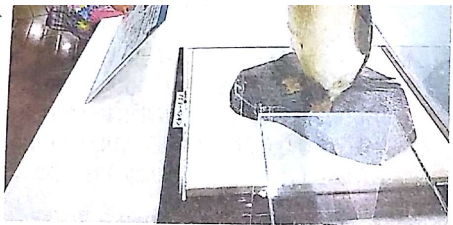


# 「越前鳥の子紙」国重文へ 紙すきの技 興味津々

## 福井工大留学生が体験学習

みんなて……読もう

福井市の福井工大で学ぶ留学生40人が22日、越前市内で体験学習を



22日、坂井市の児童童科学館

# パネル

この日は第58次南極観測隊の隊長、本吉洋一さんの講演も開かれた。期間中、南極にちなんだクイズや体験イベントなどが開かれる。8月5、6日には南極の氷が溶ける様子も。



紙すきの様子を見学する留学生たち=22日、越前市新在家町の卯立の工芸館

行った。和紙の製作技術「越前鳥の子紙」の国重要無形文化財を学ぶ。越前和紙の里内の卯立の工芸館では、和紙作りの過程について職員から説明を受けた。原料のコウゾや、余分なものを取り除く作業、手すきの様子を見学。「細かい作業ですね」「すき上げたはどのように動かし

ますか」と感想や質問を投げかけていた。

今春リニューアルオープンした紙の文化博物館を見学し、パピルス館では紙すきに挑戦した。

ベトナムから来日した機械工学科4年のチュン・ハイ・ナムさん(23)は「初めての紙すきは難しかったけど良い思い出。日本の伝統的な技術を学ぶことができた。良かったと話していた。

午前中は越前市の里

# 各地で交通



坂井 園児が祖父母と横断方法を確認

坂井市の坂井松海保育園児が19日、坂井交通安全協会の「げんきでいてね隊」に委嘱された。園児は祖父母に交通安全を呼び掛け、自らの安全意识も高めていく。

委嘱されたのは5歳児の26人。同協会員から黄色いベストを羽織っても

